

ドイツ語学科		准教授	M. ラインデル	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	「外国語教育特殊演習a」: タンデム	2015年～現在	同年代のドイツ人と交流しながら、「intercultural communicative competence」を促進する授業。学生が協定校のハレ大学で日本語を勉強するドイツ人の学生とペアを組み、自分の学習目標に合わせた学習企画を立て、相手の援助を求めつつ自律的に学習を進めていく。相手との個人作業はスカイプ、グループディスカッションはプロのビデオ会議システムを使う。オフラインの授業では、少人数のグループでタンデムについて発表し、お互いに相談するため、ドイツ語を使いながら外国語学習の工夫について考える場にもなっている。	
2	「外国語教育特殊演習b」: ゼミコラボ	2015年～現在	ドイツと日本の社会の一つの問題をピックアップし、ハレ大学の学生とコラボレーションしながら把握し解決方法を考える。日本人とドイツ人のペアが一つの観点からゼミのテーマについてドイツと日本の事情について研究し、日独比較の結果と自分の立場を二人でグループ全体のビデオ会議で発表する。オフラインの授業では、専門文献やデータを基に情報・意見交換を行い、専門知識・専門用語を広げながら、ビデオ会議を準備する。あたかもA棟で留学しているような授業である。(テーマ:2015年エネルギー、2016年:格差社会)	
3	「総合VII/VIII」: SUPER-DEUTSCH	2015年秋	時事的なテーマはどのようにドイツのメディアにおいて描かれるのかという問いを与え、学生が自ら「ドイツと難民」について調べようと決め、自分が興味を持った側面から探究し、授業で情報交換した。その後、「移民」をテーマとし、資料収集をつづけ、大規模なディスカッションでテーマの総括をおこなった。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	モデル1問題発見のドイツ語 改訂版	2007年2月	著者チーム(改訂版)に所属 (Andreas Riessland、平高史也、藁谷 郁美、木村護郎クリストフ、太田 達也、Marco Raindl)	
2	モデル3問題発見のドイツ語	2006年2月	著者チームに所属(平高 史也、Andreas Riessland、藁谷 郁美、木村護郎クリストフ、太田 達也、Marco Raindl)	
	他の教科書・参考書:業績リストをご参照			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	「Lehrwerke gestalten」(ワークショップ、ゲーテ言学センター、上海(中国))	2016年6月26～27日	ゲーテ・インスティテュートのドイツ語教師を対象とした教科書の作り方についてのワークショップを指導した。	
2	「誤りの見方」(日本独文学会ドイツ語教員養成・再研修講座)	2013年～2015年講座 2011年～2013年講座 2009年～2011年講座	日本独文学会主催、日本独文学会ドイツ語教育部会、東京ゲーテ・インスティテュート共催のドイツ語教員養成・再研修講座の「誤りの見方」のモジュールを太田達也先生と(2011年～2013年講座は星井牧子先生と)共同で担当した。	
3	「Übungen und Aufgaben」(日本独文学会ドイツ語教員養成・再研修講座)	2011年～2013年講座	日本独文学会主催、日本独文学会ドイツ語教育部会、東京ゲーテ・インスティテュート共催のドイツ語教員養成・再研修講座の「練習問題」のモジュールを太田達也先生と共同で担当した。	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1				

ドイツ語学科	准教授	M. ラインデル	大学院の授業担当 無
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日	活動内容		
2014年～現在	日本独文学会ドイツ語教育部会幹事		
2007年～2012年、2014年～2016年	日本独文学会教授法ゼミナール実行委員会委員		
2012年～2015年	日本独文学会ドイツ語教育・学習者の現状に関する調査委員会委員		
2011年～2014年	日本独文学会企画委員会委員		
その他			